

子どもの予防接種

1か月を過ぎたら早めに計画を立てましょう

- 予防接種は感染症などの病気から子どもたちを守るものです。
- 出生届時に冊子「予防接種と子どもの健康」をお渡しします。
- 冊子を必ず読み、お子さんの体調が良いときにお受けください。

■:標準的な接種年齢
 □:法律で定められている対象年齢 (期間中はいつでも接種できますが、それぞれの予防接種の目的から標準的な接種の年齢を■を目安として示してあります。)

種類	対象年齢	出生時 2か月 3か月 6か月 9か月 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 14歳 15歳 16歳 17歳 18歳 19歳 20歳	接種回数等
BCG (結核予防)	0か月~1歳に至るまで	出生時	1回
ヒブワクチン	2か月~5歳に至るまで	2, 3, 4, 5歳	初回接種時の月齢により接種回数異なります
肺炎球菌ワクチン	2か月~5歳に至るまで	2, 3, 4, 5歳	初回接種時の月齢により接種回数異なります
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)	3か月~7歳6か月に至るまで	3, 4, 5, 6歳	初回:20~56日間隔で3回 追加:初回3回終了後、1~1年半の間に1回
麻しん風しん混合(MR) 麻しん・風しん	1期:1歳~2歳に至るまで 2期:H22.4.2~H23.4.1生まれ 5歳~7歳未満で 小学校就学前の1年間	1歳, 5歳	1期:1回 (1歳になったらすぐに) 2期:1回
水痘 (水ぼうそう)	1歳~3歳未満	1歳, 2歳	2回(3か月以上の間隔を あける)
日本脳炎	1期:6か月~7歳6か月に至るまで 2期:9歳~13歳未満 (特例対象者は9歳から20歳未満)	6か月, 1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳, 6歳, 7歳, 9歳, 13歳	1期:6~28日間隔で2回 翌年にもう1回 2期:1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11歳~13歳未満	11歳, 13歳	1回
子宮頸がん予防ワクチン	H12.4.2~H17.4.1生まれ 小学6年生から 高校1年生相当まで	11歳, 13歳	6か月間に計3回 ワクチンの種類により 接種間隔が異なります

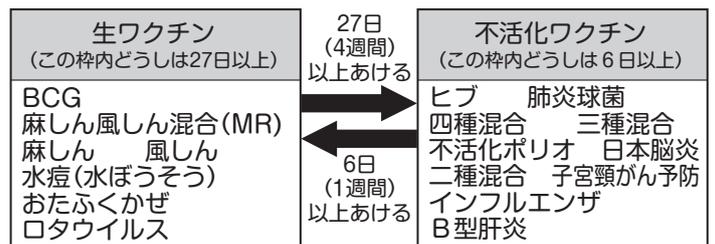
注:対象年齢の解釈 「~未満」「~に至るまで」とも、「~の前日まで」 例:「5歳に至るまで」は「5歳の誕生日の前日まで」

※今後変更となったときは、広報小田原、ホームページ等でお知らせします。

- 上記予防接種は、対象年齢内であれば、取扱医療機関(8ページ参照)で、市負担(無料)で接種を受けられます。
- 取扱医療機関にあらかじめお問い合わせのうえ、母子健康手帳を忘れずにお持ちになり、お出かけください。
- 予診票は取扱医療機関に置いてあります。

ほかの予防接種との間隔のあけ方

- ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあります。生ワクチンは接種後、体内で病原体が増え、約1か月で抗体が得られます。不活化ワクチンは病原体が増えないため、何回か接種をする必要があります。
- 十分な効果を得るために、ほかの予防接種を受けるときは必要な間隔をあけてください。



メールマガジン

ママパパ子育て知恵袋メール

妊娠されてから2歳になるまで月齢にあわせた子育てに関するミニ情報をメールします。イベント情報の紹介等もあります。
 (配信されない月齢のときもあります)
 配信日:ママ向けメール 毎月1回程度
 パパ向けメール 隔月1回程度

健康づくりメールマガジン

市民の皆さんに合わせた健康に役立つ情報が満載です。小田原市で行っている健康教室や健診(検診)のご案内もあります。
 配信日:毎月25日、毎月1~2回(号外あり)



登録はこちらの登録用二次元バーコードからアクセスしてください。
 URLでもアクセスできます。
 (PC・携帯共通) <https://www.city.odawara.kanagawa.jp/m mz/>